

「平成22年度グローバルCOEプログラム委員会（第1回）」議事概要

1. 日 時：平成22年2月16日（火）15：00～17：00
2. 場 所：独立行政法人日本学術振興会一番町事務室 第1会議室
3. 出席者：（委 員）安西委員、小野委員、勝木委員、河田委員、草間委員、
佐々木（雄）委員、鈴木（厚）委員、鈴木委員、立本委員、
田中（隆）委員、田中（英）委員、戸張委員、鳥居委員、
中島委員、野依委員、平野委員
（文部科学省）藤原大学振興課長、今泉大学改革推進室長
（事 務 局）村田理事、小林理事、會田監事、京藤監事、
渡邊研究事業部長、長澤研究事業課長、千々松研究事業課長代理

4. 議事概要

- ・議事に先立ち、審査・評価の実施主体である独立行政法人日本学術振興会の小野理事長より挨拶があった。
- ・続いて、事業の実施主体である文部科学省の藤原大学振興課長より挨拶があった。
- ・平成22年度グローバルCOEプログラム委員会委員名簿[資料1]により委員が紹介された。

(1) 委員長の選出等について

- ・互選により、野依委員が委員長に選出された。
- ・野依委員長より、副委員長には、安西委員が指名された。

(2) 委員会の運営等について

- ・グローバルCOEプログラム委員会の審議内容等の取扱いについて[資料2]、グローバルCOEプログラム委員会規程 [資料3]、グローバルCOEプログラム委員会組織図 [資料4]、自己の関係する大学の事案に関する取扱いについて [資料5] について、事務局より説明があった。

(3) 平成20年度採択拠点中間評価について

- ・グローバルCOEプログラム 平成20年度採択拠点中間評価日程（案）[資料6]、グローバルCOEプログラム 平成20年度採択拠点中間評価実施拠点一覧[資料7]、グローバルCOEプログラム評価要項（案）[資料8]、グローバルCOEプログラム中間評価用調書（平成20年度採択拠点）様式（案）[資料9]、グローバルCOEプログラム中間評価用調書（平成20年度採択拠点）作成・記入要領（案）[資料10]、グローバルCOEプログラム中間評価書面評価書（案）[資料11]、グローバルCOEプログラム中間評価結果（様式）（案）[資料12]、グローバルCOEプログラム中間評価ヒアリング実施要領・評価書（案）[資料13]、グローバルCOEプログラム中間評価現地調査実施要領・報告書（案）[資料14]、グローバルCOEプログラム中間評価学長同行の再ヒアリング実施要領・評価書（案）[資料15]、グローバルCOEプログラム中間評価意見聴取実施要領・評価書（案）[資料16]について、事務局より説明があり、了承された。

(4) その他

- ・分野別審査・評価部会への分属委員等の指名が委員長より行われた。また、事業の実施主体である文部科学省の藤原大学振興課長よりグローバルCOEプログラムの平成22年度予算案などについて説明があり、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(主な意見)

○グローバルCOEプログラムは、今後の大学に必要な個性を生み出し、地方のニーズに沿った大学を形成するのに役に立ったことから継続が非常に重要であり、人材育成面などの成果を検証して、より効果的な仕組みを検討すべきである。

○現在採択されていない大学も底上げしていけるような仕組みが必要である。

○グローバルCOEプログラムは、研究者コミュニティーなどでは認知されているが、他のコミュニティーには十分認知されておらず、また、目に見えないような効果をどのように説明するのかなど、これまで成果の説明が必ずしも十分とは言えなかった。今後よく検討する必要がある。

○東アジア諸国や欧州諸国などにおいて、21世紀COEプログラムをモデルにした事業が実施されるなど、他国の模範となっていることから、そのような観点からも成果を伝えていくべきである。

○人社系は、一般的には大きなプロジェクトを立ち上げにくいので、1拠点あたりの金額を減らして、採択件数を増やすなどの工夫も検討願いたい。

○平成22年度予算案における間接経費の削減が他の事業へ波及しないようお願いしたい。